

## 「幼稚部玄関の看板 作ったよ！」



これは、この3月、幼稚部を修了した子どもたちが、卒業制作として作った看板です。

そもそも、なぜ看板を作ることになったかという、これまであった看板が、台風の大風ではがれてしまったことに始まります。散歩に出掛けるために、幼稚部玄関を通ったとき、「この前の台風で、風がとっても強かったから、幼稚部玄関の看板が取れて、なくなっちゃったんだよ。」と話をすると、ある子が、「えー。だったら、つくればいいじゃん。」と答えてくれました。このやりとりがきっかけとなり、学級みんなで力を合わせて看板を作ることに決めました。

幼稚部は、文字が読めない子も多いので、見て分かるだけでなく、実際に触れて感じるができる看板になったらいいな、登校して看板を見るとわくわく楽しい気分になったらいいな、学級の子どもたちが大好きな絵の具を使って作れるといいななど、見て、作って楽しい看板にすることを目指して制作計画を立てました。



子どもたちの手になじむ木を材料にし、好きな色の絵の具を木片に塗りました。絵の具が乾いた後、文字の形やモザイク模様にも木片を並べてボンドで貼り合わせました。子どもたちは、筆を使って絵の具の塗り残しがないように、一つ一つ丁寧に塗っていました。子どもたち同士で「ここぬってないよ。」など、お互いの様子を見て話をしながら活動する様子も見られました。また、ボンドで貼り合わせる時には、「このいろがいい。」「ぼく、やりたい。」など、自分のしたいことをしっかりと伝えることができました。

完成した看板と一緒にとった記念写真は、幼稚部最後の素敵な思い出となりました。「ぼくたちがつくった」という、子どもたちの満足感や自信が伝わってくる1枚です。

卒業の日には、まだ玄関に飾っていませんでした。地域の小学校に就学した子どもたちは、看板が玄関に飾られている様子を見ていません。ぜひ、学校に足を運んで、玄関に飾られている看板を見てほしいと思います。